

平成21年4月1日



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田赤十字乳児院

〒010-0041
秋田市広面字釣瓶町100-3
TEL 018-884-1760
FAX 018-884-1762
相談電話 018-884-1761
URL <http://www.akita.jrc.or.jp/nyujiin/>

広報誌 第13号

よちよちちゃん



～ボランティアさんありがとう～

お世話になっているボランティアさんと一緒に雑祭り会をしました。

講演会開催

『乳児院における家庭復帰のための保護者支援について』

龍谷大学研究科教育心理学課程教授 森田喜治氏

子どもをとりまくすべての人々への福祉

日本赤十字本社の講師派遣による研修会が、当院職員のほか県内各地から、児童福祉に携わる方たち80名が参加し開催されました。

養育現場に20年臨床心理士として勤務された豊富な経験を交えながらの講演となりました。

日々の養育や親との関わりの中で、こちら側から一方的に指導・助言することが支援の中心と思いがちだったが、それは、相手を変えようとすることで、その存在を否定することになりかねない。「親は否定的な存在ではなく協力する一番に重要な存在」である。親元に帰ることを前提に、親の文化(育った環境)を受けとめ、お互いに理解しあえる関係を作っていくことが、保護者支援となり家庭復帰を果たすことになる。と話されました。



質疑応答

Q：措置変更を前に担当児のAくん「新しいお家に行くんだよ。バイバイだね。」と、話していたことが、夜鳴きなど不安定な様子に変わってしまった。これでよかったのでしょうか？

A：知らなかったら、新しい施設でこのような気持ちが出現したと思う。これが乳児院で出たことにより、しっかりと受け止めてあげられたのだから、よかったと思う。その子どものことを思い行ったことに意味があると思う。



講演に先立ち、乳児院を訪問され、子どもの養育について、職員と意見交換をしました。

「どうしよう・・・」困ったときは、

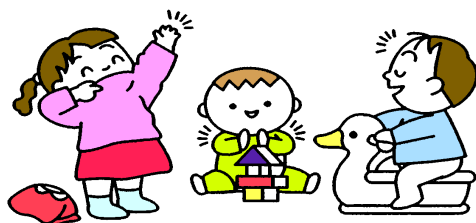
赤ちゃんほっとダイヤル 018-884-1761

相談受付時間 8:30 ~ 23:00



当院では、平成8年度より電話相談をしています。
看護師、保育士など経験豊富な専門のスタッフが、
子育ての様々な悩みにお答えしています。

平成20年度の相談件数 …………… 401件



どんな相談?・こんな相談・・・も

○病気等の相談 290件

「急な発熱、夕方だけ病院に行ったほうが
いいかしら?」

○発育・発達の相談 11件

「言葉が遅いような気がするんですが…」

○生活習慣の悩み 43件

「夜寝るのがすごく遅いんだけど、どうやっ
て寝かせたらいいの?」

○育児の方法 32件

「嘔むんですが、どうしてですか?」

○その他 25件



年度末は、子どもの退所が多くなります。
今年も新しい生活を始める子どもたちが乳児院
を巣立っていきます。

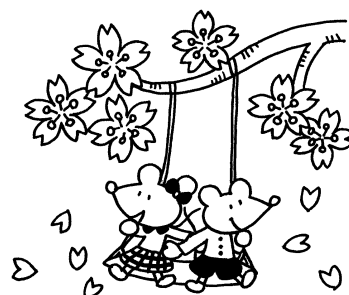
養護施設、または、家族のもとへ行き先はさ
まざまですが、移動となる養護施設を訪問したR
くんは、「新しいお家に行ってきた。」と話してく
れました。

小さくても自分の歩みをしっかりと捉え、新し
い第一歩を踏み出そうとしているかのようでし
た。

ともに歩んできた担当保育者には子どもの成
長と少しの寂しさを感じる季節です。



「元気でね」と見送る職員と子どもたち

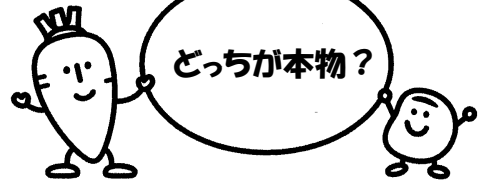


ぱくぱく食育ふらざ

食物アレルギーは大変・?!

食べることは栄養ばかりではなく、美味しいと感じ、誰かと共感することで生活に楽しみとエネルギーを与えてくれます。

食物アレルギーの子どもも当院では、代替食品を用い見た目にも他児と変わらないような調理の工夫により「楽しい」食生活を送ることができるようにしています。



乳製品アレルギー献立〈クリームスパゲッティ〉

トピックス



ふれママサロン

3月2日開催

赤ちゃんとおふれあい体験

入浴、授乳、おむつ交換などの体験を通してママやパパ、おばあちゃんの不安解消の手助けをしています。赤ちゃんのかわいさ、ぬくもり、大変さ、楽しさの体験です。

この日は、秋田子育てナビ『ママファミ』の取材がありました。春号に掲載されています。

日赤有功会様より寄贈

大型テレビ(アクオス・フルーレイ内臓)



オープンフロアーに設置しました。

「大きいテレビだね、すごいね。」と、子どもたちから声があがり大喜びです。

5月は、赤十字運動月間です

+ 赤十字思想誕生150周年記念 赤十字運動月間イベント

ネイガー・マイが秋田の子どもを守る!!

～みんなで学ぼう! こどもの手当～

平成21年5月24日(日)
10:00～15:00
イオン大曲ショッピングセンター
1階「花火の広場」 入場無料

ネイガー・マイが秋田の子どもを守る!!
～みんなで学ぼう! こどもの手当～
ネイガー・マイによるこどもの安全を守る講習会を実施。
1回目 11:00～ 2回目 14:00～
ネイガー・マイとのじゃんけん大会もあるよ!

**こどものAED・けがの
手当体験コーナー**
訓練用の幼児人形でAEDの操作方法が学べます。

スタンブラリー
会場のチェックポイントで「素敵なプレゼント」がもらえるよ!

子ども用救護服試着体験コーナー
日本赤十字社が災害時に使用する救護服(子ども用)を着てみませんか!
※ネイガー・マイが出演している時間帯は、緊急の来客のためご参加できません。

**秋田県・赤十字施設
(病院・血液センター・乳児院)のPRコーナー**

献血バスタがやってきました!
イオン大曲ショッピングセンターにおいて献血を実施します。
当日は全血(400ml・200ml)のご協力をお願いします!
10:00～16:00(休憩11:00～12:00)

主催 **+** 日本赤十字社 秋田県支部 共催 秋田赤十字病院 後援 秋田県 協力 秋田県青年赤十字奉仕団連絡協議会
秋田県赤十字血液センター 大曲市 大曲ライオンズクラブ
秋田赤十字乳児院

編集後期

春は、さまざまな形でやってきます。別れ、旅立ち、そして、新たな出会い。

院庭の花々が色とりどりの花を咲かせてくれるのも、もうすぐでしょう。

楽しみです。

